

第2学年通信 「もっと cooperation」 (HP同時配信)

□ 夏季休業明けスタートです □

30日間の夏季休業が終了し、今日から学校が始まります。休業期間中の生活や学習はいかがだったでしょうか？この休業中に「オープンキャンパス」に参加した人、「ボランティア活動」に従事した人、「インターンシップ」に参加した人、など各自が自分のためにまた将来のために、多種多様な経験や体験をしたことと思います。それらは貴重な経験として必ず自分の財産になることでしょう。今後の生活や学習に活かして欲しい、と思います。また、この休業中に実施した「三者面談」の中から今後の学校生活で気をつけて欲しいことや、意識して欲しいことを次に掲載します。



1 人との対応(誹謗や中傷)について

1つの教室での生活や学習ですから、両隣や前後の人はすぐ近くにいます。無意識に発した言葉や表現が、それを聞いた人を傷つけていることがあります。そういうことをしていませんか？

例えば、乱暴なものの言い方や人をばかにした(または見下した)言い方、道理や理由がない強制的な言い方などは、言われると腹が立つ人が多いと思います。また、発言した人のほとんどが「罪の意識がない、覚えていない、思ったことを軽く言っただけ」、と思っていることが多いです。しかし、言われた方(聞いた方)はそんなことで済まされません。「重大発言」と認識し、場合によってはいじめにつながるケースもあります。そのときは発言した人が加害者扱いされ、指導対象になります。

“何気ない一言が他の人を傷つけているかも知れない”を常に意識してください(暴言＝暴力)。相手や周囲の人を思いやる気持ちを忘れないように(私たち36人は仲間です)。

2 進路意識を常に持つ

9月が過ぎると高校生活は折り返しに入ります。また、見学旅行が終わると、自分の進路をより真剣に考える人が増えてきます。卒業後の進路目標は各自が別々であり、そのための準備や学習等も人によって違うことばかりです。これらのことを先送りしている人はいませんか？

進路目標が見えないとその準備も進めません。そして時間だけがどんどん過ぎてゆきます。時間は限られていますから、無駄に過ごさずにいろいろ始めましょう。「Webで調べる」、「資料や求人票を見る」、「オープンキャンパスやインターンシップに参加する」、などに取り組むことが大切です。

【身だしなみ指導の目的】

どこの学校でも名称こそ違いますが「身だしなみ」に関する指導や検査などを行っています。皆さんからすればあまり気持ちのいいものではないかも知れませんが、なぜ行うのか？という理由があります。それは、皆さん方の評価や信頼、さらには学校の信頼を得るためです。それらはさまざまな場面で学校の教育的な活動や生徒の進路希望の実現、卒業後の生徒の社会的信用に関わってくるからです。極端に言えば全員がしっかりできているならこの指導自体が必要ないでしょう。しかし、残念ながら少ない数とは言え、できない人がいる(らしい)からです。一人の信用失墜行為が全体に影響します。「自分さえ良ければいい」ではなく、まず自分がきちんとすることから始めましょう。

※週末ですので、

- ① ジャージの持ち帰り(洗濯等しましょう)
- ② 悪いプレイをしない(警察のお世話にならない)